

アンケート集計結果

「学校林・遊々の森」
全国子どもサミット **IN 北海道**
 2013年8月7日
振り返りシート

「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin北海道にご参加いただきありがとうございます。
 した。2日間の日程の中での感想をお聞かせください。
 小学校名 _____ 氏 名 _____

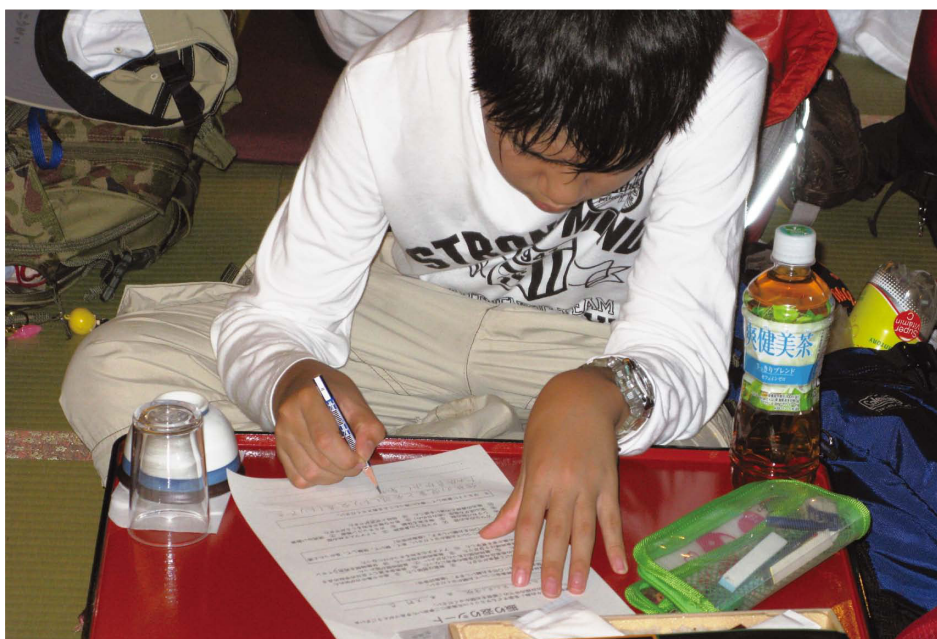
1 森林体験活動発表会についてお聞かせください。
 該当する番号に○印をお願いします。(複数回答可)

- ① 満足のいく発表ができた ② 発表は緊張した ③ 途中で集中力が切れた
 ④ 他校の発表は今後の活動の参考になった ⑤ 発表会を通じて自分の学校の良さを
 感じた ⑥ 質問時間はあった方がよい ⑦ 質問時間が短かった
 ⑧ 発表時間は十分足りた ⑨ 発表時間は短かった ⑩ 休憩時間を利用してセン
 ターの展示室を見学した ⑪ アイヌ文化を知るきっかけになった

2 自然体験活動についてお聞かせください。見て、聞いて、体験して、良かったと感じ
 番号に○印をお願いします。(複数回答可)

- ① カツラの木の話 ② クマゲラの食痕跡 ③ トドマツ人工林の話
 ④ シラカバ林の話 ⑤ 樹を測る体験 ⑥ カミネツコン植樹 ⑦ 溪流沿い散策
 ⑧ 定山溪ダム見学(雨の日のみ) ⑨ 色々な樹木を知ることができた
 ⑩ 地元の森林との違いを感じた ⑪ 他校と交流ができた

3 サミットに参加して一番心に残ったことを教えてください。





回答状況

総数：57人

児童：37人

先生：20人

主な感想



森林体験活動発表

<児童>

緊張したが、くいのない発表ができた。

他の学校の発表を聞いて、自分たちでも出来る事（やったことがないこと）に取り組もうと思った。

<先生>

自分の学校の活動を振り返ることができ、他校の活動の工夫が大変参考になった。

各校の取組活動が子どもたちのものになっていることにすばらしさを感じた。



自然体験活動

<児童>

カミネッコンは初めて作った。何年かしたらダンボールが腐ってなくなるという話を聞いてびっくりした。やってみて楽しくて良かった。

カミネッコンは初めての人でもかんたんにつくれておもしろかった。

<先生>

班毎に散策する活動ではポイント毎、分かりやすく教えていただき勉強になった。

北海道の自然を改めて見直すことができ、道外の方にも知っていただくことができうれしく思った。



その他

<児童>

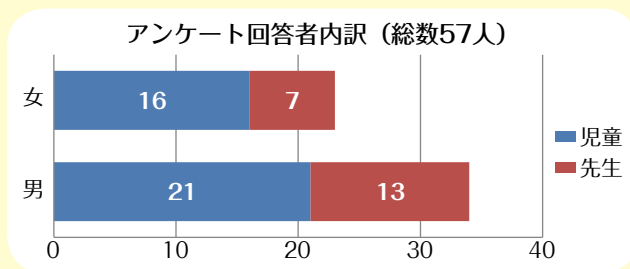
みんなと交流し2日間楽しく過ごせたので全て心に残っている。

たくさん友達ができた。いっぱい話して仲良くなった。いつかまた会いたい。

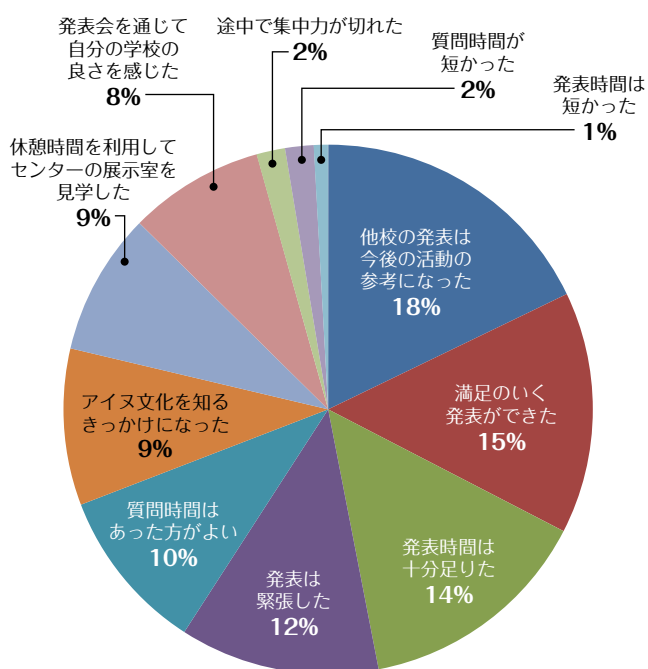
<先生>

価値観を共有できる全国の子どもたち、先生方と交流でき意義深いものがあった。

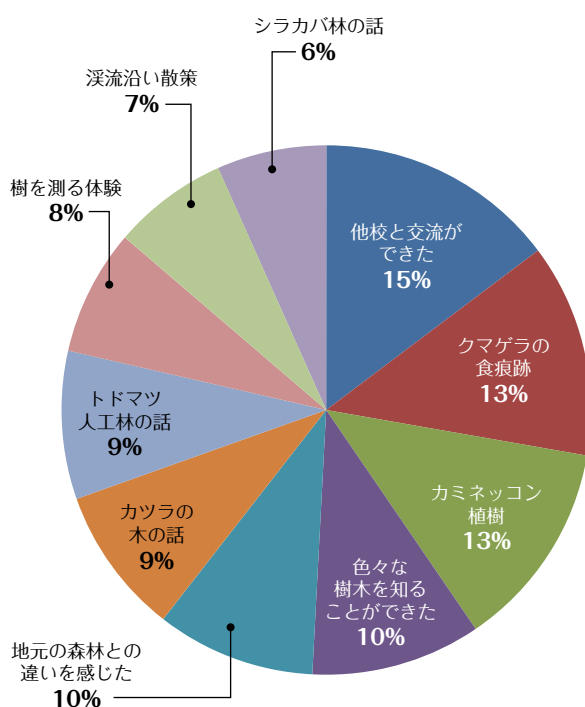
今後は今回知り合った他校と交流しつつ、学校林をさらに活用していきたい。



森林体験活動発表会



自然体験活動





協賛企業の取り組み

アジア航測株式会社	83
株式会社森林環境リアライズ	84
住友林業株式会社	85
一般財団法人セブン-イレブン記念財団	86
一般社団法人全国森林レクリエーション協会 道央支部	88
公益財団法人ニッセイ緑の財団	89
一般財団法人日本森林林業振興会 札幌支部	90
物林株式会社	91
三井ガーデンホテルズ	92





アジア航測株式会社は、1954年、戦争で荒廃した日本の国土を復興するために必要な地図を作製する航空測量会社として創業し、来年で創業60周年の節目を迎えます。当社は空間情報計測技術を駆使し、国土の安全・安心に関するデータを提供するとともに、このデータを基に国土管理のコンサルティングを行っております。

森林保全・森林管理

国土保全や地球温暖化防止、生物多様性保全など森林に対する要請の高まりに対して、手入れ不足による森林の荒廃、林業の採算性悪化による国内林業の低迷などの問題が顕在化しています。当社では最先端のレーザ計測等のセンシング技術、地理情報システム(GIS)による空間情報解析技術を活用し、広域の森林資源情報を効率的に把握するとともに、貴重な森林資源の利活用に向けた各種森林計画の策定などを通じて、持続可能な森林・林業経営のための取り組みを支援しています。

治山・路網管理

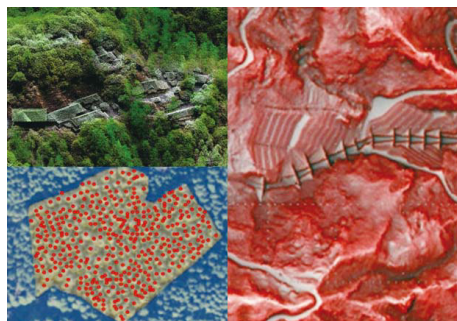
豪雨や地震などで発生した荒廃山地では、治山施設整備や森林整備により、森林の水土保持機能を向上させて、山地災害の未然防止、水源のかん養、生活環境の保全・形成を図っていくことが必要です。また、森林の手入れを進め、林業を活性化させていくためには、効率的に森林を管理するための林道等の路網整備が不可欠です。当社では治山対策や路網整備に対する要請に対し、従来からの計画・設計技術に加えて、最新のセンシング技術やGIS等を活用した技術支援を行っています。

世界の森林保全

森林減少に伴う温室効果ガスの排出量は世界全体の約2割を占めており、この抑制は地球温暖化防止に極めて有効です。REDD+メカニズムの導入により、途上国における森林保全と経済発展の両立が期待されており、世界各国や国際機関が基準の策定や標準化を目指した取り組みを進めています。当社ではベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー、サモア、マラウイ、東ティモールなどでREDD+事業に参画し、森林モニタリングシステムなど持続可能な森林管理のための技術開発や技術移転などの活動を行い、途上国における森林保全や地球環境保護のための取り組みを支援しています。

森林整備・農山村支援

CSR(Corporate Social Responsibility:社会的責任)の一環として、自然と共生する産業としての林業や、農山村地域の喪失防止や再生を実現し、森林・環境保全活動に取り組むNPO法人「空とぶ森」への支援を通じ、森林・林業への社会貢献を行っております。



航空レーザ計測技術を活用した森林資源調査

赤色立体地図
(特許3670274号)



NPO法人「空とぶ森」活動の様子

お問い合わせ・連絡先

アジア航測株式会社 営業統括部 〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2

TEL 044-969-7594 E-mail info@ajiko.co.jp

URL <http://www.ajiko.co.jp/>



株式会社
森林環境リアライズ

Harmonization/調和, Innovation/革新, Aspiration/大望

森林環境リアライズは社名の通り、森林・林業・自然環境に係るコンサルタント会社で、豊かな森林と自然環境の保全、創出の実現を理念とし、森林法にもとづく土木工事及び地域開発に関する企画、調査、測量、設計等のコンサルティングや自然環境に関する調査、研究、環境教育、林業に関する調査、研究、人材育成、海外における森林に関する業務等をフォローするコンサルティング会社です。

業務として、自然体験学習、環境教育学習、森づくり体験、ポット苗木の販売、環境教育資材のレンタル、販売等も行っていることから、NPO法人、環境保護活動団体、小中学校等との関係も広がり、ボランティアでも森林に係る多様な活動を行ってきました。

また、植樹方法も従来植樹方式の他、生態学的混播混植法、カミネッコン植樹等、子ども達や、地域住民が容易に参加できる様々な植樹方法での植樹会も実践してきました。

植樹に関する代表的な活動としては、石狩川流域「1人1本300万本植樹運動」推進運動(石狩川流域には300万人居住しており、1人1本植樹すれば300万

本の植樹が達成される)に関わり、流域市町村・団体と地域住民による植樹活動、植樹指導の補助等業務により、住民参加植樹の技術やネットワークも構築できました。

写真は生態学的混播法による、種の播きつけ、発芽成長した苗のポットへの移植(写1,1)、ポット苗の植樹(写1,2)。従来手法による台風倒木被害地の住民参加による植樹会(写1,3)。

環境教育活動では、様々な森の役割を模型実験で勉強したり、自然観察会で植物、動物、昆虫(写1,4)、鳥類の観察会は好評で、子ども達の興味、吸収力を育みます。

全国各地の学校林でも様々な活動が行われ、今年度の子どもサミット参加校のように、森林を生かした環境教育が活発に、そして子ども達が積極的に参加し、その様子を堂々としたプレゼンで聞かせていただき、深く感心いたしました。弊社は今後も、これまでの知見、経験等を活用し、地域の学校林を守り、育む活動の一助になるよう協力したいと考えています。



写真1,1 ポット苗づくり



写真1,3 アカエゾマツ植栽



写真1,2 混播法による植樹



写真1,4 昆虫観察

お問い合わせ・連絡先

株式会社森林環境リアライズ 〒064-0821 札幌市中央区北1条西21丁目3-35

TEL 011-699-6830 FAX 011-699-6831

E-mail info@f-realize.co.jp URL <http://www.f-realize.co.jp/>

「木の可能性」を追求し、事業活動を通じて社会と地球環境に貢献する

「植えて、育てて、活用し、また植える。」

森林資源を受け継ぎ、未来へ残すことが豊かな社会をつくりだす。

住友林業グループのルーツは、**320余年前**に四国の別子銅山を開坑し、銅の採掘を始めたことにさかのぼります。別子銅山は日本有数の銅山として発展を遂げましたが、明治期に入ると銅の精錬による煙害と、燃料として大量の木を伐採したことにより、山は荒れてしまいました。このとき、当時の別子支配人の伊庭貞剛は「**国土報恩**」の精神から荒れた山を元の姿に戻すため、「大造林計画」を実施し、多い年には年間100万本以上の植林を行い、山に緑を蘇らせました。目先の利益にとらわれずに事業をすすめていく精神は「住友林業の行う事業は社会・国民のためになるものでなければならない」という事業方針となり、現在の経営理念にも受け継がれています。

今では、北海道、和歌山、四国、九州に日本の国土面積の1/900にあたる**43,328**ヘクタールもの社有林を保有しています。



住友林業 四国社有林

富士山「まなびの森」プロジェクト

「まなびの森」プロジェクトは、台風被害を受けた富士山麓の国有林を舞台に緑豊かな自然林を復元することを目指した活動です。平成10年にはじまり、ボランティアによる森づくりを通じた社会活動として、静岡森林管理署や地元住民の協力を得て100年計画で行っています。既に約7600人のボランティアが携わり、約3万本をこえる自生種を植林し、現在は枝打ち、間伐などの保育施業を実施しています。また、地元富士宮市の小中学生を対象にした、環境教育を継続して行っています。



環境学習WEBサイト「森と木のひみつ」

住友林業のホームページ内で、森の大切さや木の魅力、地球環境問題などについて楽しみながら学ぶことができる学習用WEBサイト「森と木のひみつ」を開設しています。家族全員で楽しみながら関心を高めていただくこと、また小学校で環境教育の一環としてご利用いただくことを想定しており、サイト内で紹介する情報をもとに、子どもたちが自ら考え、自発的な行動へと繋げていくことを狙いとしています。



【WEB サイト「森と木のひみつ」】
<http://sfc.jp/environment/himitsu/index.html>
 (「森と木のひみつ」で検索下さい)



一般財団法人

セブン-イレブン記念財団

セブン-イレブン記念財団は、(株)セブン-イレブン・ジャパン創立20周年記念事業として、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となって環境をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的として、1993年11月に設立されました。

セブン-イレブン店頭でお客様からお預かりした募金と、(株)セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金をもとに、「地球温暖化防止」「地域活動支援」「自然環境保護・保全」「災害復興支援」「広報」の事業領域を設け活動しています。中でも、地域に根ざした環境市民団体の二酸化炭素(CO₂)削減、自然環境や野生動植物種の保護・保全、体験型環境学習、環境への負荷を軽減、植花などの活動に対し、公募助成を通じて積極的な支援を行っています。

日本の美しく、貴重な自然を次世代に残すために、さまざまな団体と環境パートナーシップ協定を結び「霧多布湿原ナショナルトラスト活動」や「富士山地域環境保全活動」などの自然環境保護・保全に取り組んでいます。また、災害で失った自然を復元することを目的として、2006年から「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」、2008年から「三宅島緑化プロジェクト」、2010年から東京都と協定を締結し「東京の緑を守ろうプロジェクト」、2011年から「東京湾再生アマモプロジェクト」と「東日本大震災復興プロジェクト」に取り組んでいます。

2012年度は、CO₂を削減する活動として「地球温暖化対策助成」を新設すると共に、千葉県や長野県の森林組合と協定を結び、「森林保全プロジェクト」をスタートします。

セブン-イレブン記念財団では、これからも環境市民団体、セブン-イレブン加盟店及びセブン-イレブン本部と力を合わせて、活動内容の充実を図り、地域に根ざした社会貢献活動を展開してまいります。

皆様のさらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

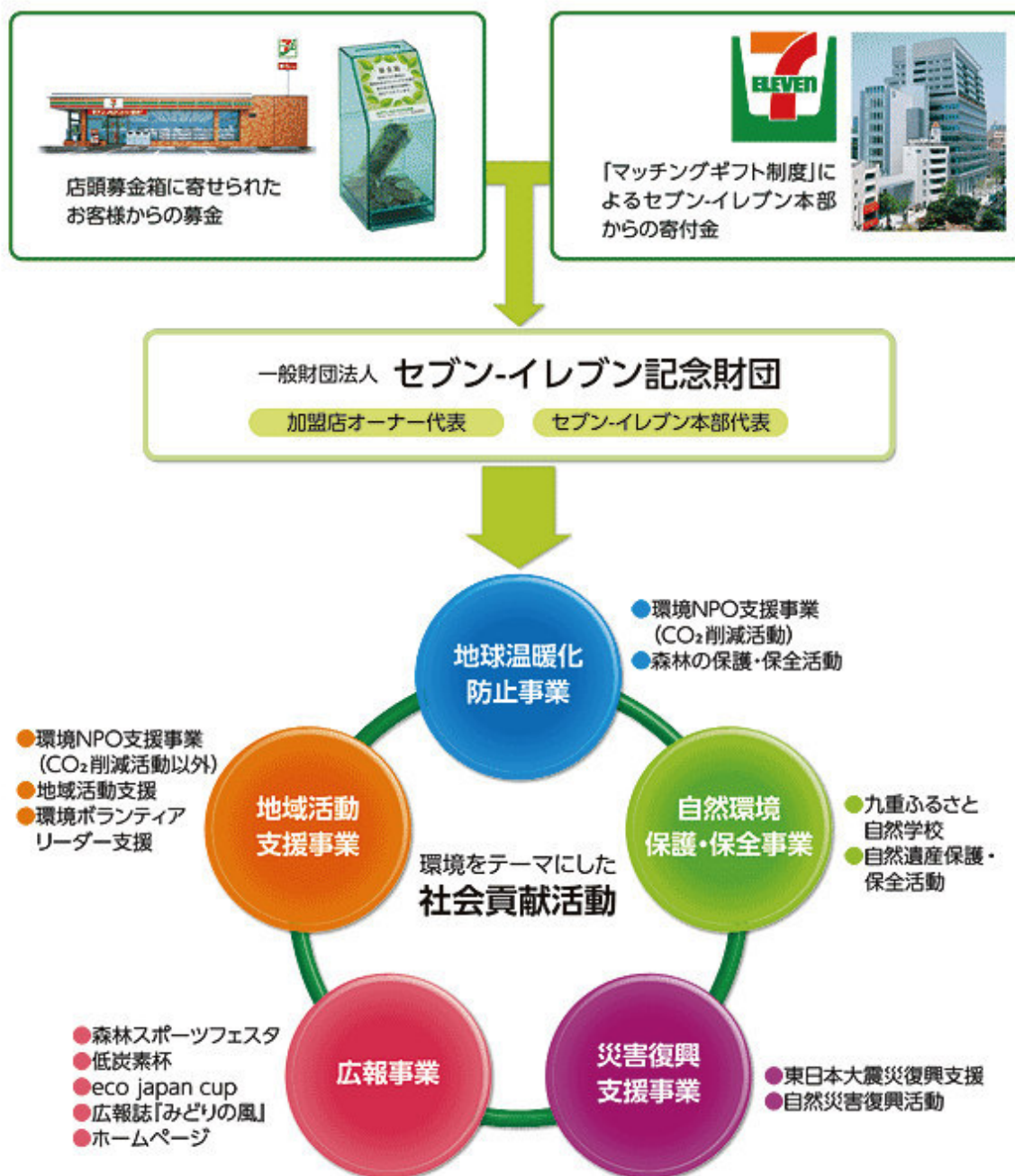


一般財団法人 セブン-イレブン記念財団

理事長 山本 憲司

(セブン-イレブン豊洲店オーナー)

募金の流れ



一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 道央支部

当会は、森林のレクリエーション利用に関する調査研究・普及啓発、人材の育成等の事業を行い、もって森林のレクリエーション利用の推進と林業経営の活性化に寄与するとともに、農山村地域社会の振興、発展に資することを目的として活動しています。

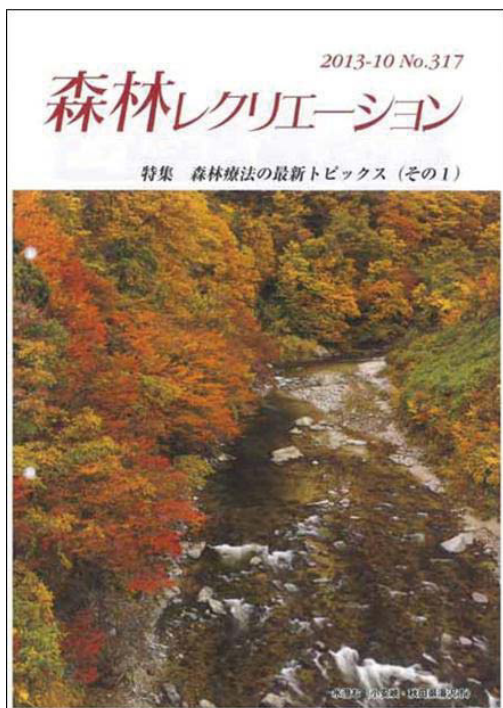
事業は、森林レクリエーション利用に関する調査研究、森林レクリエーション利用に関する情報の収集・提供、森林のレクリエーション利用に関する研修会等の開催、森林レクリエーション地域における美化活動に関する功労団体の表彰、森林インストラクターの資格認定及び養成講習の実施、森林体験活動（森林環境教育）に関する講習会等の実施等を行っています。

情報の収集提供として、森林レクリエーション利

用に関する情報誌「森林レクリエーション」を毎月発行しております。

資格認定事業として平成3年から「森林インストラクター資格認定事業」を行っております。森林・林業に関する国民の理解の増進、山村地域におけるレクリエーション的資源の利活用を通じた地域振興等に資するとともに、森林環境教育の必要性に対応するための資格試験、森林インストラクターとなるために必要な知識及び技能を付与することを目的に養成講習等を実施しており、平成25年度の資格試験は全国で6箇所、475名が受験しました。

当協会道央支部についても、12団体が加盟し支部現地研修会の実施、本部計画の行事への積極的参加協力のほか、地域美化活動の啓蒙等を行っています。



お問い合わせ・連絡先

一般社団法人全国森林レクリエーション協会 道央支部

〒064-0954 札幌市中央区宮の森4条4丁目1-5

TEL 011-622-5253 FAX 011-622-5254



公益財団法人

ニッセイ緑の財団

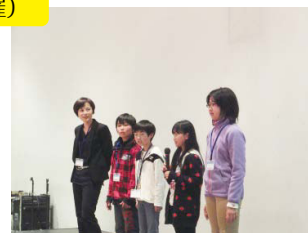
公益財団法人ニッセイ緑の財団は、平成5年の設立以来、全国で植樹・育樹活動を行ってまいりました。ここでは、公益財団法人ニッセイ緑の財団が取り組んでいる「森林を愛する人づくり」活動の中から、学校現場での森林体験の拡充を目的とした、「**学校の森**」に関する取組をご紹介します。

復興支援シンポジウム

平成24年度に「**東北の地から(力)全国に発信する森と子ども達とのいい関係**」をテーマに、宮城県でシンポジウムを開催し、森を活用しながら地域の防災や子ども達の支援に取り組んでいる団体や学校に発表頂きました。

また、学校関係者の参加を目指して、宮城県内の全小中学校へ学校の森についてのアンケートと当シンポジウムへの参加推奨を行い、約200名の方にご参加頂きました。

第1回復興支援シンポジウムのようす（平成25年1月12日開催）



第2回復興支援シンポジウム（平成26年1月19日仙台メディアテークにて開催）

「広がれ、つながれ学校の森」

環境の異なる小学校の児童の皆さんが、森を使った様々な活動について発表します。

（宮城県内の小学校と県外の招待校も併せて10校程度）

森のない学校だって学校の森はできるよ！藪だらけの森、所有者が判らなくて入れない森が蘇る！

「**学校の森を活用したいが、実際は難しい**」とお悩みの先生、きっとヒントが見つかりますよ。

①発表校の更なる取組改善

- ・様々な取組みを取り上げる
- ・発表することでの新たな発見
- ・他校の取組みを知る刺激

②新たな活用の全国発信

- ・宮城県の学校と県外の学校との相互交流を通じて、被災地で生まれた環境教育防災林を広める

③学校の森活用校の拡大

- ・活用継続校、活用中断校、活用再開校等の交流から活用の課題と解決のヒントを探る

学校の森の活用拡大を目指すため、シンポジウム以外にも以下のような取組を実施しています。

ふれあい森林教室

宮城県・福島県の子ども達（未就学児童含む）と保護者を対象に、子どもが幼い頃から森林でのふれあいの大切さを知ってもらい、学校の森の活用拡充における将来の良き協力者となってもらえればと思い開催しています。

平成23年度から計6回開催し、273名（大人105名・子ども168名）の参加を頂きました。

ふれあい森林教室のようす（平成25年8月9日開催）



「学校の森」支援

NPO法人森林インストラクター協会と協力し、平成24年度は仙台市立松陵西小学校（現泉松陵小学校）へ資金支援・活動支援を行いました。

泉松陵小学校（けやき山）



協賛企業の取り組み

公益財団法人ニッセイ緑の財団

一般財団法人 日本森林林業振興会 札幌支部

当会は、昭和21年2月財団法人として設立以来、森林の調査、森林・林業資機材の販売、森林・林業に関する出版物の発行、グリーン・サークル活動、森林愛護についての普及啓発など各種の事業を行い67有余年の歴史を重ね、森林・林業の発展などにいささかなりとも貢献して参りました。

平成24年7月、当会は一般財団法人へ移行しました。社会の情勢や国民のニーズを的確にとらえつつ、森林・林業に関するエキスパートとして、地球温暖化防止、森林・林業の再生、東日本大震災復旧・復興等に係わる各事業により幅広に取り組むとともに、効果的かつ適正な事業運営を行い、社会や国民のお役に立つよう全力を傾注しております。

<事業概要>

○地球温暖化防止等の事業

- ①分収造林の造成及び造成への支援、市民の森等の保育・間伐
- ②海外での森林造成
- ③ペレット・薪ストーブ設置の支援及び間伐材等を利用した「木育」等に活用できる木製品の開発・製作、幼稚園等へ配付

○森林環境教育及び森林環境整備事業

- ①グリーン・サークル事業、森林を活用した森林教室の開会等を通じた環境教育
- ②自然休養林、市民の森等の遊歩道の路面や標識類の維持・管理等の環境整備と登山口等の案内・啓蒙看板及び休憩所の水道施設、ベンチの設置等の施設整備

○森林・林業及び愛林愛護についての普及・啓発事業

- ①中学生・高校生等を対象とする山火事予防ポスター用原画と標語の募集・表彰
- ②植樹祭等各種イベントの実施、世界遺産の森と木フォトコンテストの実施及び地域の森林・林業史等の情報誌の作成・配付

○森林調査事業

- ①国有林の樹木の伐採・売り払いに関する森林調査
- ②森林整備、林業振興に関する森林調査
- ③森林環境保全に関する森林調査

④森林の活用・機能維持に関する森林調査
その他森林資材の販売事業、木材の利用推進事業、林地内施設整備・保全事業、図書出版事業、情報処理事業、保険事業を行っています。

札幌支部は、北海道森林管理局と協定を結び、北海道森林管理局・署の要請に基づき国有林サポート団体連絡協議会加入団体(現在14団体)に対し、国有林におけるイベント実施に係るサポート活動に対する支援を行っています。

また、野幌国有林において署との協定に基づき、枝払い、下刈りなどの森林整備や樹名板設置などの施設整備、協定に基づき国有林内の林道等を巡視し、山火事予防、不法投棄防止等の啓発活動を行っています。



都市近郊林での枝払い



樹名板設置

お問い合わせ・連絡先

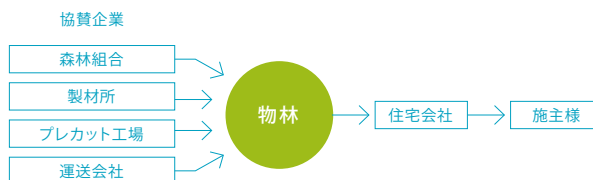
一般財団法人日本森林林業振興会札幌支部
〒064-0954 札幌市中央区宮の森4条4丁目1-5
TEL 011-622-5253 FAX 011-622-5254

環境のために、物林ができること。

国産材の一元管理

品質・供給力・価格の安定化

創業以来培ってきた川上から川下までの「林業ノウハウ」(植林→育林→伐採→利用)のすべてをもって、国産材メーカーおよび製品を的確に選択し、お客様へお届けします。



震災復興支援活動

「東北みどりの元気プロジェクト」を通して次世代を見据えた東北の活性化に貢献します。具体的には「森づくり」「まちづくり」「人づくり」の3つのテーマを掲げ、地元木材・住環境産業の復興、海岸防風林の再生と緑あふれる街づくり、更には傷ついた子供たちの心を癒す森林体験キャンプなどに取り組んでまいります。

森

- 東北の豊かな森林資源と木材製品の活用
- 海岸防災林の再生



北海道足寄町役場庁舎
町有林の木材を地元製材工場で
生産・加工。このノウハウを東北に。

まち

- 災害に強い街づくり(洪水対策・避難用階段)プランへの参画
- 地域型復興住宅への企画段階からの協力と建設資材の供給



相馬市 井戸端長屋(ダウ長屋)
第1号の災害公営住宅長屋です。福島県産の杉・松を有効利用した高齢
者用の共同住宅。

人

- 被災した子供たちを対象とした
森林(自然)体験キャンプ



明神前地区 災害公営戸建住宅
明神前地区災害公営戸建住宅は第一号の災害公営住宅戸建てです。
戸建て住宅(平屋と二階建て)は家族向けとして施工されています。



山元町 災害公営戸建住宅



体験キャンプ(3年間継続)
福島県小野川湖畔にて「こころの
ケア」プログラムを実施しました。

荒廃した森林を健全な森林へ変えていく

日本の森林面積2,500万haの内、4割の1,000万haは人間の手入れが必要な人工林です。人工林を手入れせずに放置すると、やがて土砂災害が起きる一因となり、人間生活に悪影響を及ぼすだけでなく、生物多様性も失われたり、CO₂吸収量が減少してしまう等の問題を起こします。物林では「イコロの森」のクリスマスツリー植林などを通して植林体験や環境意識を高める活動に取り組んでいます。



「イコロの森」のクリスマスツリー植林



「緑の地球」を大いなる未来のために そして明日を担う子供たちのために

私たちは日頃、「緑の地球」という言葉で、自然の恵み豊かなこの星を表現しています。そして、この美しい星は未来永劫存続すると誰もが何の疑問も抱かず信じきっています。しかし、私たちの地球が「緑の地球」であり続けることについて、誰も保証はしてくれません。特に、地球温暖化、熱帯雨林の減少、酸性雨、野生動物の減少といった地球環境の危機的状況を迎えているいま、人類ひとりひとりが美しい地球の存続について真剣に考えなければならないところに来ています。大いなる未来のために。そして、明日を担うすべての子供たちのために。当社は地球環境のプランナーとしてこれからも「自然と人間の調和」をめざして、美しい「緑の地球」の存続に貢献していきます。

お問い合わせ・連絡先

物林株式会社 〒136-8543 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー

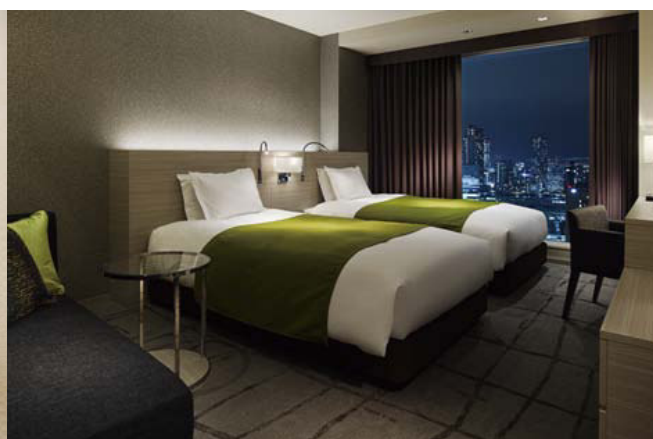
TEL 03-5534-3580(代表)

“地球環境にやさしい”ホテルへ～

三井ガーデンホテルズ 全ホテルにて 「ECOガーデンカード」実施中！！



ECOガーデンカード・アメニティー式



三井ガーデンホテル銀座プレミア

【「ECOガーデンカード」の運用】

- ◆平成20年3月より、廃棄物の削減と環境創造(緑の保全)のため、「ECOガーデンカード」を全ホテルにて運用しています。
- ◆ご宿泊のお客様が客室内のアメニティボックスのアメニティをご利用されない場合、「ECOガーデンカード」をフロントにお持ちいただきますと、お客様に代わり、当ホテルより環境保護団体(公益財団法人オイスカ)に寄付いたします。
- ◆当該寄付は、国内の植林および森林整備等に活用されており、運用開始以降の累計寄付金額は、4,305,750円となっています。(平成25年9月末時点)

【地産地消の料理の提供】

- ◆各ホテルのレストランでは、地元で生産された農産物や水産物を料理に提供する「地産地消」の取り組みを行っています。
- ◆地産地消は、新鮮な地元食材や名産の提供により、伝統的食文化の維持・継承とともに、輸送にかかるエネルギー消費やCO₂排出量削減にもつながるものです。

【職場体験学習への協力】

- ◆三井ガーデンホテルズでは地元の中学校・高校と連携して、職場体験学習を実施しています。客室清掃、朝食会場での案内、宿泊業務など幅広く体験され、皆さん一生懸命に学ばれています。

■三井ガーデンホテルズは、「環境にやさしいホテル」として、今後も地球環境に配慮した取り組みを積極的に行うとともに、「お客様の五感を満たすホテル」、「記憶に残るホテル」を目指し、ホスピタリティ溢れるサービスの提供に努めてまいります。

* 三井ガーデンホテルズの環境への取り組みを「WEB版 環境冊子」としてホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

URL <http://www.gardenhotels.co.jp/>